

令和8年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立南葛西中学校

校長名 日野志磨子

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学びつづける人。 ・思いやりのある人。 ・心身の健康に努力する人。
----------------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

社会生活の中から自分で課題を設定し、情報を収集・整理・分析し、まとめ、表現方法を工夫する能力を養う。また、その探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を習得するとともに、異なる表現や他者の考えを受け入れ、互いの特性を理解し、共同して課題を解決することができる態度を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能		
第1学年	第2学年	第3学年
学習課題に関する知識を調べ、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けている。	社会生活の中において、様々なものの関わりについて気づくとともに、よさを知らることができる。	社会生活の中において、様々なものの関わりについて気づくとともに、よさを知り生かすことができる。
思考力、判断力、表現力等		
第1学年	第2学年	第3学年
探究的な見方・考え方をを用いて自分の課題を立て、情報を集め整理してまとめ、発表している。	自ら課題を設定するとともに、必要な情報を手段を選択しながら、収集・蓄積し発表することができる。	自ら課題を設定するとともに、必要な情報を手段を選択しながら、収集・蓄積し、分析したことを発表することができる。
学びに向かう力、人間性等		
第1学年	第2学年	第3学年
課題の解決に向けて計画的に行動するとともに、他者の考えを理解することができる。	課題の解決に向けて計画的に行動するとともに、他者の考えを理解し、尊重することができる。	課題の解決に向けて計画的に行動するとともに、他者の考えを尊重し意見をまとめることができる。

内容	学習対象	学習事項
第1学年	日本の自然環境とそこに起きている環境問題 歴史や文化とその継承に力を注ぐ人々 進路・職業の選択と社会への貢献 働くことの意味や働く人の夢や願い 地域の人々の暮らしと関わり 健康的で情操豊かな生活	自然の存在とそれがえのなさ 歴史や文化のもつ特徴とその歴史的背景 社会貢献を目指した進路と自己実現 働くことの大切さと様々な職業の在り方 地域の人々のふれあい 健康への関心を高め、情操を豊かにする取組
第2学年	日本の自然環境とそこに起きている環境問題 歴史や文化とその継承に力を注ぐ人々 進路・職業の選択と社会への貢献 働くことの意味や働く人の夢や願い 地域の人々の暮らしと関わり 健康的で情操豊かな生活	自然の存在とそれがえのなさ 歴史や文化のもつ特徴とその歴史的背景 社会貢献を目指した進路と自己実現 働くことの大切さと様々な職業の在り方 地域の人々のふれあい 健康への関心を高め、情操を豊かにする取組
第3学年	日本の自然環境とそこに起きている環境問題 歴史や文化とその継承に力を注ぐ人々 進路・職業の選択と社会への貢献 働くことの意味や働く人の夢や願い 地域の人々の暮らしと関わり 健康的で情操豊かな生活	自然の存在とそれがえのなさ 歴史や文化のもつ特徴とその歴史的背景 社会貢献を目指した進路と自己実現 働くことの大切さと様々な職業の在り方 地域の人々のふれあい 健康への関心を高め、情操を豊かにする取組

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動に関しては全学年において、1年間35時間行う単元とする。 ・学期のなかでテーマについて取り組みを基本として実施する。 ・各学年の成長段階に応じた課題やテーマを設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりを大切に体験活動の重視する。 ・協働的な学習時間の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会や学年会議における校内の連絡調整と支援体制の確立する。 ・副担任とのチーム・ティーチングを授業によって行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価。 ・自己評価、他者評価、教員による評価を工夫して取り入れる。